

気仙沼 RCE/環境教育推進会議 2006 開催要項

気仙沼市教育委員会

1 目的

地域や専門機関の専門家からの助言を基に、各学校や団体の環境教育の取り組みを情報交換・共有することで、各校並びに地域の環境教育の一層の充実を図る。

国連大学 RCE のグローバルな視点と、学校及び地域のローカルな実践を基に、学校間及び地域・専門機関とのネットワークを構築し、環境教育を基軸とする「持続可能な社会のための教育(ESD)」の地域拠点(RCE)としての体制づくりを推進する。

2 日時 平成18年6月29日(木) 13:30 ~ 16:30

3 場所 気仙沼市立面瀬小学校

4 主催 気仙沼市教育委員会
共催 宮城教育大学

5 参加者 (約100名)

国連大学, 宮城教育大学, 地域の専門機関, 行政, 環境団体, 産業団体, ボランティア
市立小・中学校, MTP参加校, 高等学校教員, 市教育研究員, 市教育委員会 他

6 日程・プログラム(3部構成)

【第1部】全体会

体育館 13:30 ~ 14:25

進行: 気仙沼市教育委員会 副参事 藤村 俊美

「これからの環境教育の視点 ~ ESD/RCE のビジョンと展開」

開会挨拶 宮城教育大学 副学長 高橋 孝助 先生(次期学長)

基調報告 「ESD/RCE のビジョンと気仙沼地域に期待すること」(20分)

国連大学高等研究所(UNU-IAS) 上席研究員 鈴木克徳 先生

報告 「仙台広域圏 RCE の展開と気仙沼地域の取り組み」(10分)

仙台広域圏 RCE 運営委員長 宮城教育大学教授 小金澤孝昭 先生

報告 「テキサスにおける環境教育と地域・国際連携」(20分通訳含)

アメリカ合衆国テキサス州カリスバーグ小学校 教員 Ms. Danita Ortowski 先生

【第2部】 テーマ別セッション(分科会)

各教室 14:35 ~ 15:30

「気仙沼の環境学習の情報交換と共有」

川をフィールドにした環境学習

講師:村松隆 宮教大環境研センター長, 棟方 有宗 宮教大助教授

海をフィールドにした環境学習

講師:青野哲大 大島・島の体験館館長

森林(動物・昆虫・土壌)をフィールドにした環境学習

講師:齋藤千映美 環境研助教授, 島野智之 環境研助教授,
溝田浩二 環境研助手, 新田 千恵子 気仙沼蝶々の会事務局

植物栽培を通じた環境学習

講師:岡正明 宮城教育大学助教授,

エネルギー,リサイクル,都市計画等をテーマにした環境学習

講師:佐藤春子 気仙沼ユネスコ協会長, 市環境課 昆野文雄 課長補佐
白幡昇一 NPO「大島大好き」

食教育テーマにした学習

講師:小金澤孝昭 宮教大教授, 菅原昭彦 スローフード気仙沼 理事長

【第3部】 全体会

体育館 15:40 ~ 16:30

コーディネーター: 面瀬小学校長 山崎 昭 先生

「気仙沼地域の環境教育とRCEの推進」

各セッション(分科会)からの報告(各3分)と質疑

討議 「気仙沼に根ざした環境教育の推進とRCE体制の構築について」

- ・気仙沼地域全体の環境教育の推進について
- ・学校間,学校と地域・専門機関・海外との連携について
- ・気仙沼地域のRCEの推進体制について 他

指導・講評

宮城教育大学環境教育実践研究センター長 村松隆 教授(7分)

閉会挨拶

気仙沼市教育委員会 教育長 阿部 弘康

16:30終了